

平成29年度第1回奈良市地域包括支援センター運営協議会の意見の概要	
開催日時	平成29年8月25日（金）午後3時30分から午後4時30分まで
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第16会議室
意見等を求める内容等	1. 平成28年度地域包括支援センター運営状況報告について 2. 平成29年度地域包括支援センター運営について 3. その他
参加者	出席者 12人・事務局 9人
開催形態	公開（傍聴人5人）
担当課	福祉部福祉政策課
<b>意見等の内容の取り纏め</b>	
<p>事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。</p> <p>《報告内容及び委員からの意見等》</p> <p>1. 平成28年度地域包括支援センター運営状況報告について</p> <p>1. 平成28年度地域包括支援センター運営状況報告</p> <p>1) 主な相談業務対応件数、2) 介護予防支援年間延べ件数について報告</p> <p>2. 平成28年度地域包括支援センター支援状況</p> <p>1) センター長会議、2) 認知症地域支援推進員連携会議、3) 地域包括支援センター職員研修について報告</p> <p>2. 平成29年度地域包括支援センター運営について</p> <p>1) 地域包括支援センターの増設について、2) 地域包括支援センター支援状況、3) 各地域包括支援センターの高齢者の状況、4) 介護予防・日常生活総合事業について報告</p> <p>意見・議論として以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターの、プロポーザルをどのようにするのか、市の方針を早急に決めていく必要がある。</li> <li>・地域包括支援センターが抱えている課題を解決するセクションが必要ではないか。</li> <li>・奈良市が地域包括支援センターをどのように支援していくか、支援の方法や人材の育成などが課題である。</li> <li>・現場の声を聴くための委員も必要ではないか。</li> </ul>	

- 地域包括支援センターの課題も多くあるなか、多職種連携や地域ケア会議など、包括支援センターは良く頑張ってくれている。やはり地域包括支援センターの連携等を中心的に行う基幹型地域包括支援センターが必要ではないか。
- 東部では、これまでも地域で日常的に見守り活動を行っているが、8月に地区社協郵便局、農協、三者で「東部ブロック地域見守りサポート」をスタートさせた。
- 高齢者だけでなく40～60歳代を支えるニーズが増えているため権利擁護センターが必要。
- 基幹型地域包括支援センターと権利擁護センターが表裏一体にならないといけない。
- 地域包括ケアシステムをどのように進めて行くか、介護と医療の連携など、市民にどのように啓発していくかを考えていかなければならない
- 介護予防は地域作り、定年をむかえたサラリーマンの地域での居場所がないため、地域に担い手となってもらいたい。